

平成 18 年（2006 年）第 3 回市議会定例会本会議（9 月 28 日）

教育経済常任委員長報告（議案）

ただいま議題となっております議案のうち、教育経済常任委員会に付託されました、議案第82号、第83号、第84号中付託部分、第98号から第100号まで、及び第103号の以上7件につきまして、委員会における審査の経過と結果を報告します。

委員会は、9月21日会議を開き、案の説明を聴取して質疑を行いました。

主な質疑を申し上げますと、議案第82号 平成18年度横須賀市水道事業会計補正予算（第1号）の専決処分の承認及び、議案第83号 平成18年度横須賀市下水道事業会計補正予算（第1号）の専決処分の承認については、企業債借り換え後の高金利の残債件数、要望額のすべてを借り換えることができない理由について、であります。

議案第84号 平成18年度横須賀市一般会計補正予算（第2号）中付託部分は、企業誘致施策の展開見込み、企業進出に要した期間、進出企業の雇用計画、企業進出による経済波及効果について、であります。

議案第99号 市立学校設置条例中改正については、法改正に伴う学校名称の変更の有無について、であります。

議案第103号 物品の買入れについては、入札結果、今後の物品買入れ見込み、買入れ物品の一覧、について、であります。

次いで、討論において、ねぎしかずこ委員から「議案第84号中付託部分の企業等立地促進事業については、地元市民からの新規の正規雇用は望み薄と思わざるを得ず、また地元への社会的貢献も定かではない等の問題点があるところに、最終的には自己の利益を追求する企業に、限度額2億5,000万円もの多額の奨励金を交付するのは、市民が納得するとは思えないため、反対する。」旨の意見があり、採決の結果、議案第82号及び第83号は全会一致で承認すべきものとし、議案第98号から第100号までの以上3件は全会一致で、議案第84号及び議案第103号は賛成多数で、いずれも原案どおり

可決すべきものと、それぞれ決定しました。

以上で報告を終わります。